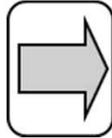


香川県内経済情勢報告



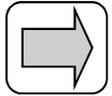
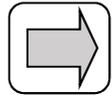
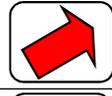
令和 6 年 1 月
財務省 四国 財務局

香川県内経済情勢報告

	令和5年10月判断	令和6年1月判断	総括判断の要点	10月判断との比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	<p>個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアが堅調となっているほか、観光も緩やかに回復していることから、全体としては持ち直している。</p> <p>生産活動は、プラスチックが弱含んでいるものの、化学が緩やかに持ち直しつつあるほか、食料品が持ち直しつつあることから、全体としては一進一退の状況にある。</p> <p>雇用情勢は、緩やかに持ち直している。</p>	 (2期連続据え置き)

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しが続くことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

項目	令和5年10月判断	令和6年1月判断	10月判断との比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
公共事業	前年度を下回っている	前年度並みとなっている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	

※ 6年1月判断は、前回5年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費 持ち直している

(2期連続据え置き)

- 百貨店・スーパーは、身の回り品等に動きがみられるほか、飲食物品が堅調であることから、全体としても堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、飲料品や米飯類等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

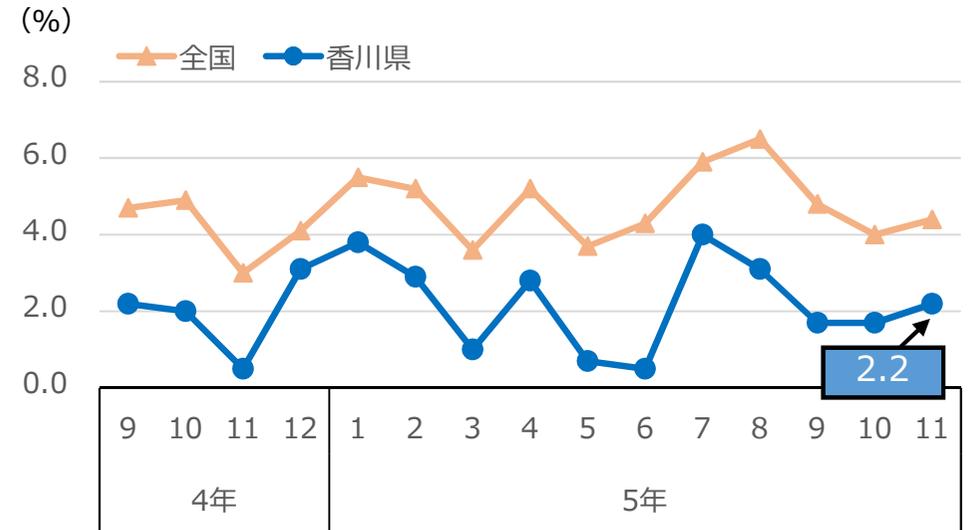
《百貨店・スーパー》

- 暖冬の影響で冬物衣料の動き出しが鈍かったものの、外出機会の増加から化粧品販売が好調であるほか、ブランドバッグや高級時計についても引き続き好調。
- 家事の時短ニーズなどから引き続き総菜の売れ行きがよい。気温が高く推移したため、飲料やアイスクリームの販売も好調であった。
- 中食需要の定着や野菜の相場高などから、総菜の売上が好調。

《コンビニエンスストア》

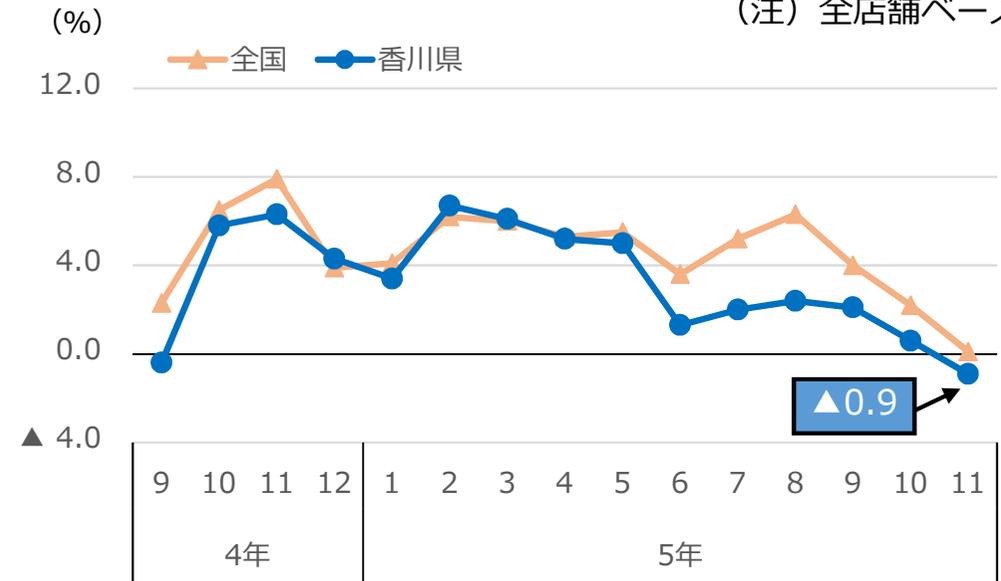
- 買上点数が減少しており、物価高による買い控えと考えられる。
- コロナ5類移行による人流回復で、引き続きペットボトル飲料やおにぎりの売れ行きがよい。
- 気温が去年よりも高かったため、伸びるべき商材（温かい麺類）が伸長しなかったが、飲料やアイスクリームは販売好調であった。

〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



【出所】経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、飲食料品や化粧品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、エアコンや一部の高付加価値製品に動きがみられるものの、全体としては弱含んでいる。
- ホームセンターは、暖房用品の動きが鈍いものの、販売価格の上昇などから、全体としては堅調となっている。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、小型車は前年を下回っているものの、普通車及び軽乗用車は前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。
- 観光は、外国人観光客の増加により、緩やかに回復している。
- 国内旅行は、回復しつつあり、海外旅行は、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

「ホームセンター」

- 暖冬の影響で暖房用品の売れ行きが悪かったものの、商品の値上げによりDIY用品や日用品の売上は前年を上回った。

「観光」

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行による観光需要の高まりや、円安による外国人観光客の急増などがあり、好調である。

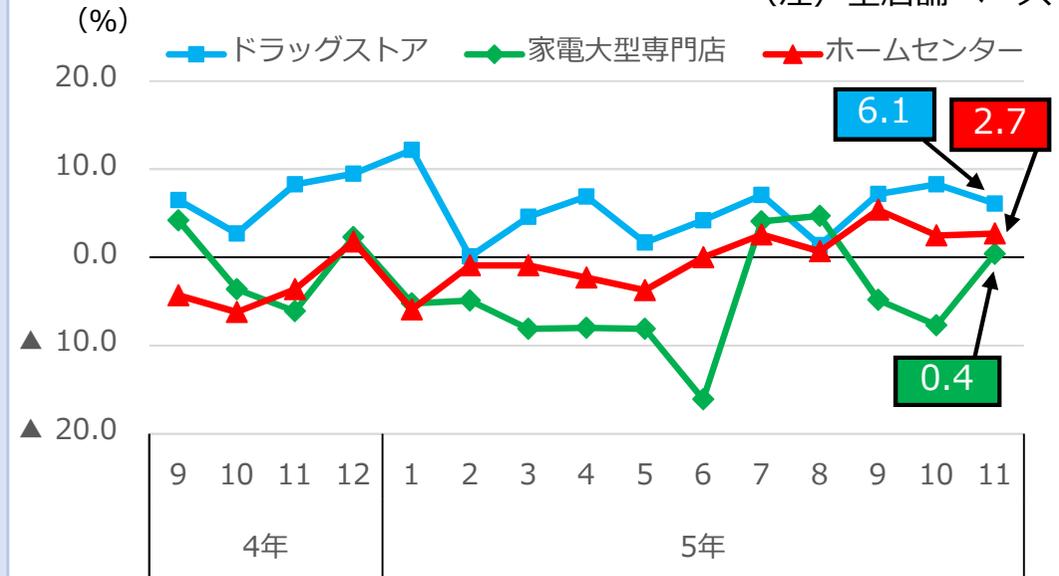
「旅行」

- 国内旅行の需要は、新型コロナウイルス感染症流行以前の水準に戻っている。

- 回復途上ではあるが、海外旅行の需要は戻ってきている。

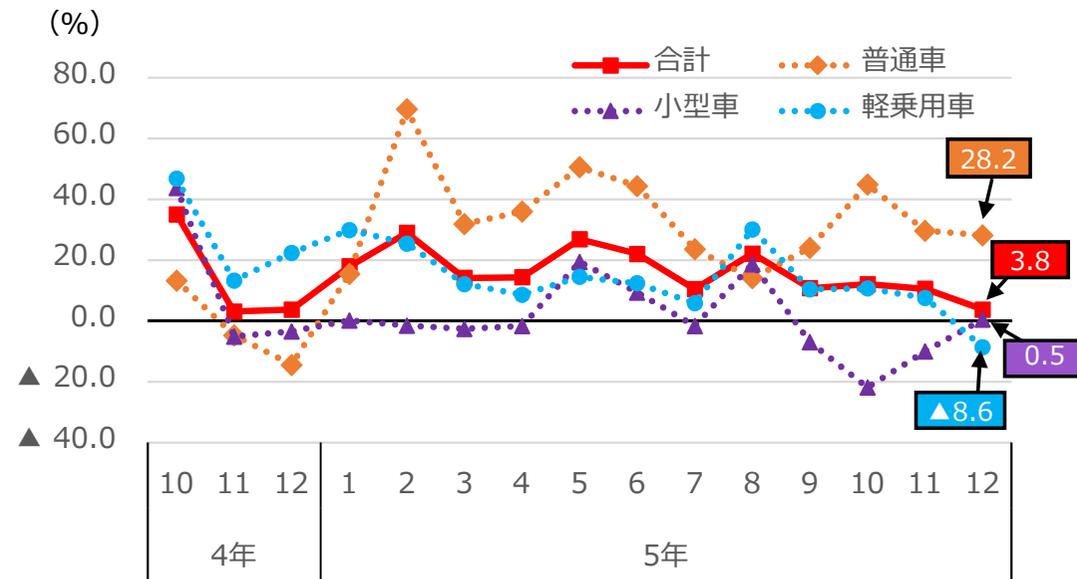
〔香川県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

（注）全店舗ベース



【出所】四国経済産業局

〔香川県の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



【出所】四国運輸局の公表データから算出

生産活動

生産活動 一進一退の状況にある

(2期連続据え置き)

○化学は、医薬品に動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。食料品は、堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。プラスチックは、受注に弱さがみられ、弱含んでいる。こうしたことから、全体としては一進一退の状況にある。

〔主なヒアリング結果〕

「化学」

○医薬品は海外需要の高まりにより、受注状況は好調。

「食料品」

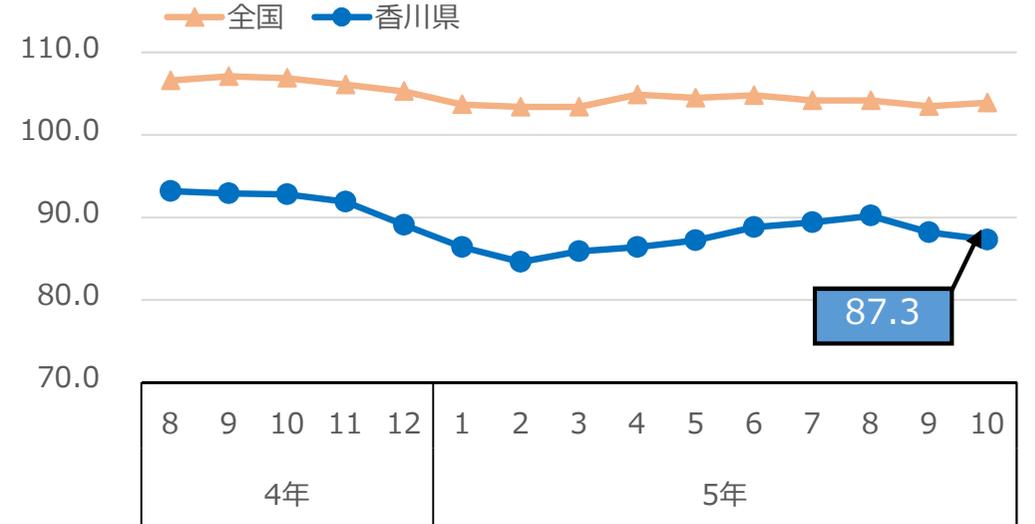
○冷凍食品は手軽さなどから人気が高く、受注状況は引き続き好調。

「プラスチック」

○価格転嫁したことにより、受注が減少した状況が続いている。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕

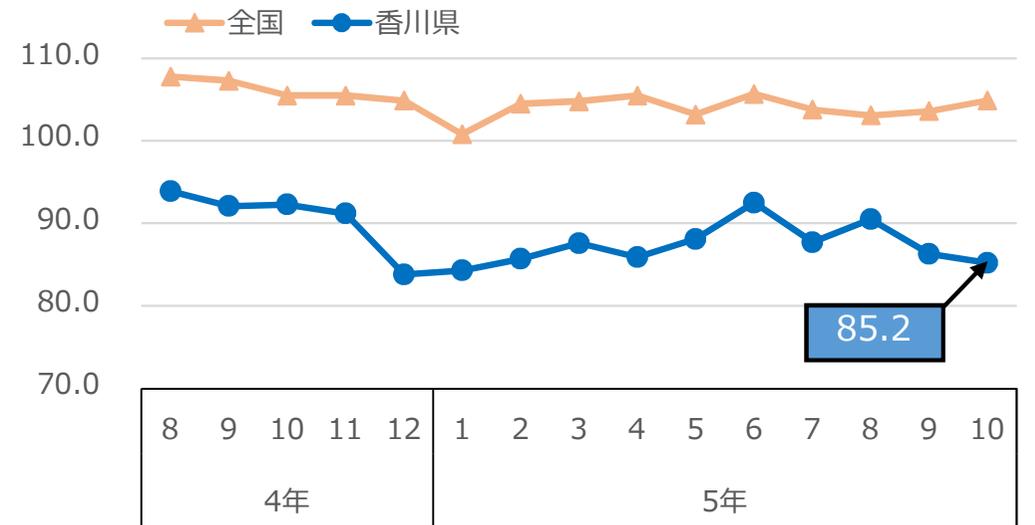
(香川県：平成27年=100、全国：令和2年=100)



〔出所〕経済産業省、香川県の公表データから算出

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕

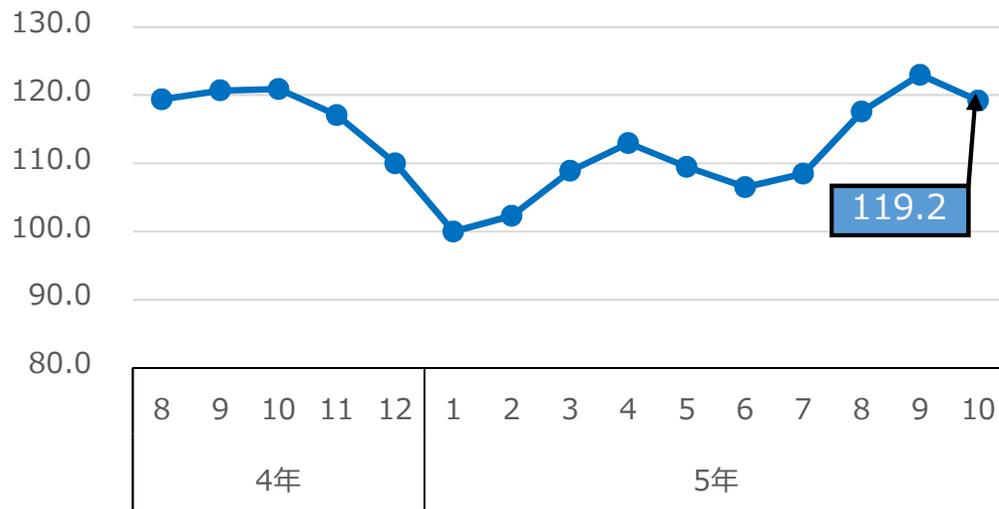
(香川県：平成27年=100、全国：令和2年=100)



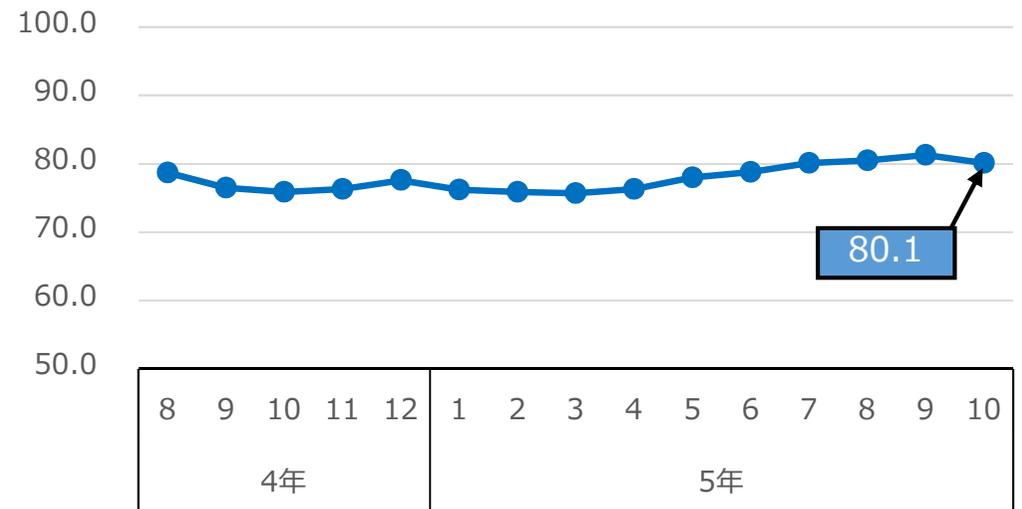
〔出所〕経済産業省、香川県

生産活動

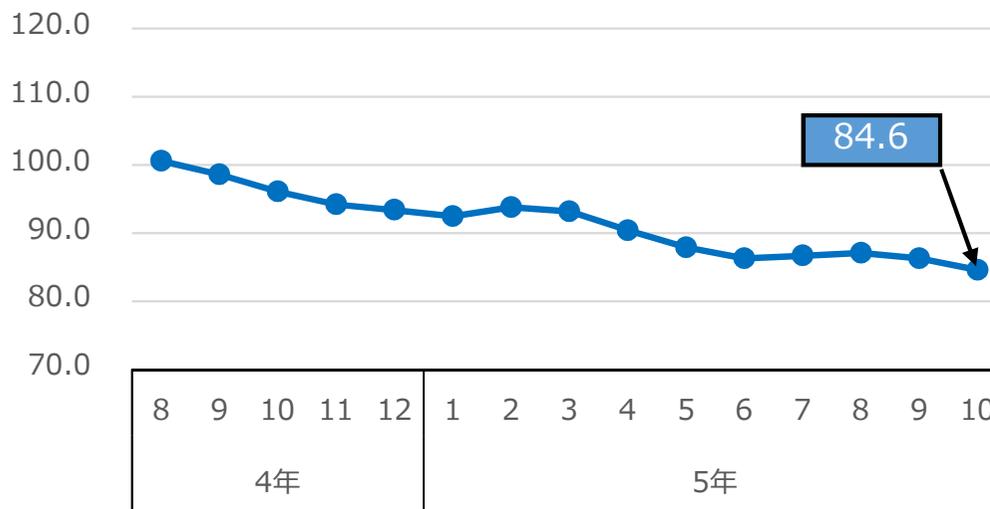
〔化学・石油石炭〕



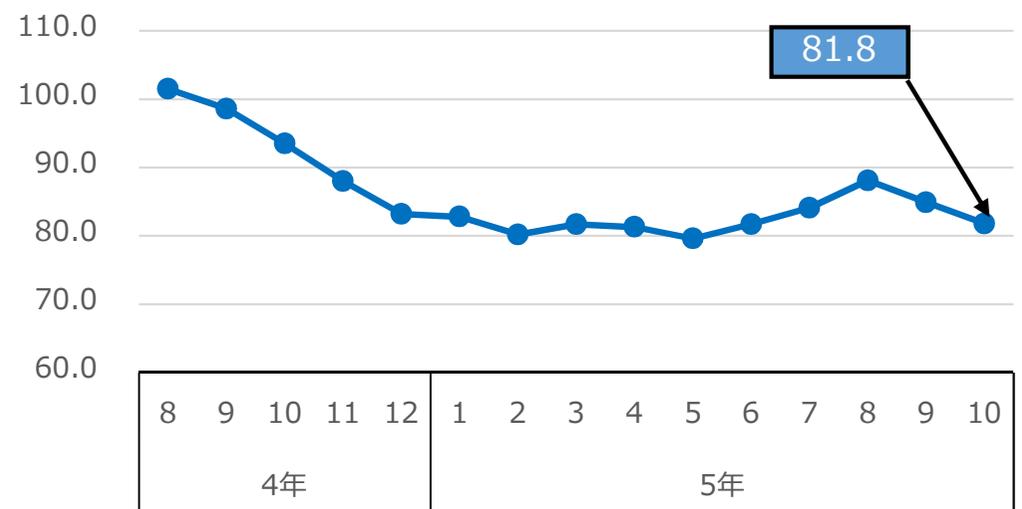
〔食料品〕



〔プラスチック〕



〔電気機械〕



(季節調整済指数、3か月移動平均、香川県：平成27年=100) 【出所】香川県の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢

緩やかに持ち直している

(5期連続据え置き)

- 有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。
- 新規求人数は前年を下回っている。
- 法人企業景気予測調査の従業員数判断BSIをみると、12月末は全産業で33.0%ポイントと「不足気味」超となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「労働局」

- 物価高に伴うコスト増加により、人件費を抑えるために求人提出を控える動きが一部の業種で見られるが、新規求人数の減少は、前年の反動などによるものも多く、様々な業種で人手不足感が続いている。
- 物価高による生活防衛のため、パートや年配の方を中心により良い条件を求めて求職する動きが続いている。

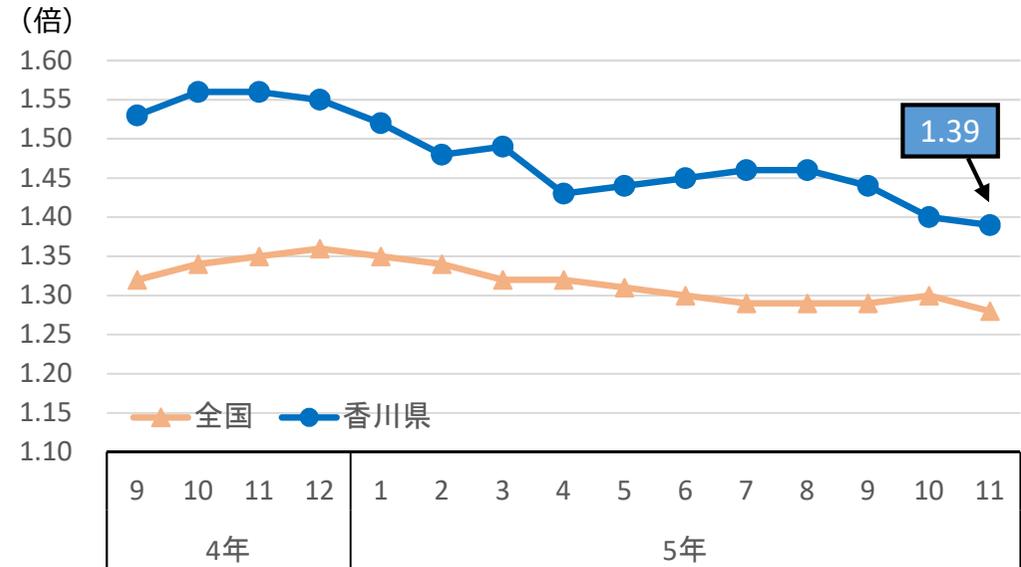
「生活関連サービス業」

- 旅行者数増加により、窓口対応をする人材が不足している。採用活動の強化や人員の配置の工夫で対応している。

「運輸業」

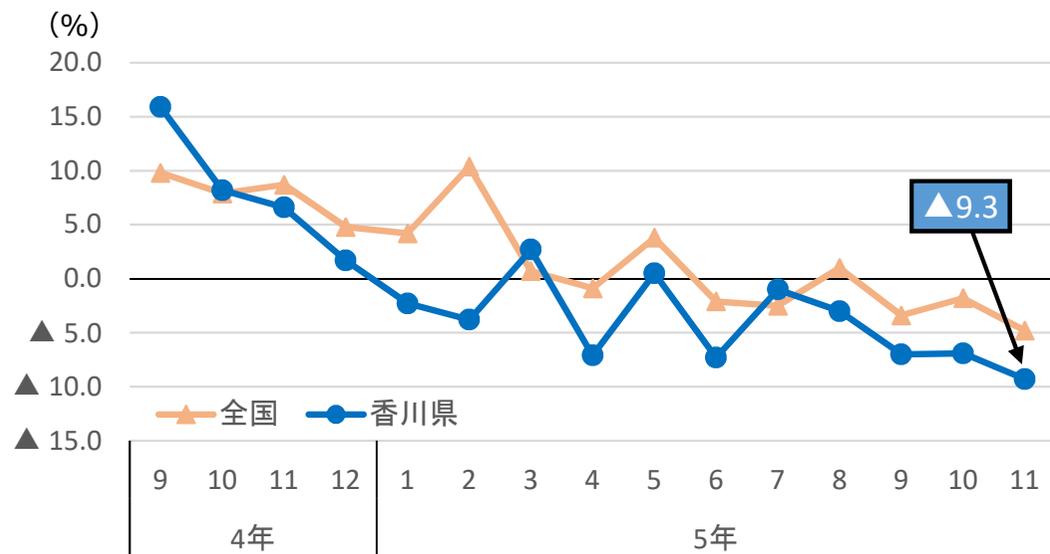
- 業界全体でドライバー不足となっており、人材獲得の競争が激しくなっている。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



〔出所〕厚生労働省

〔新規求人数（原数値、前年同月比）〕



〔出所〕厚生労働省の公表データから算出

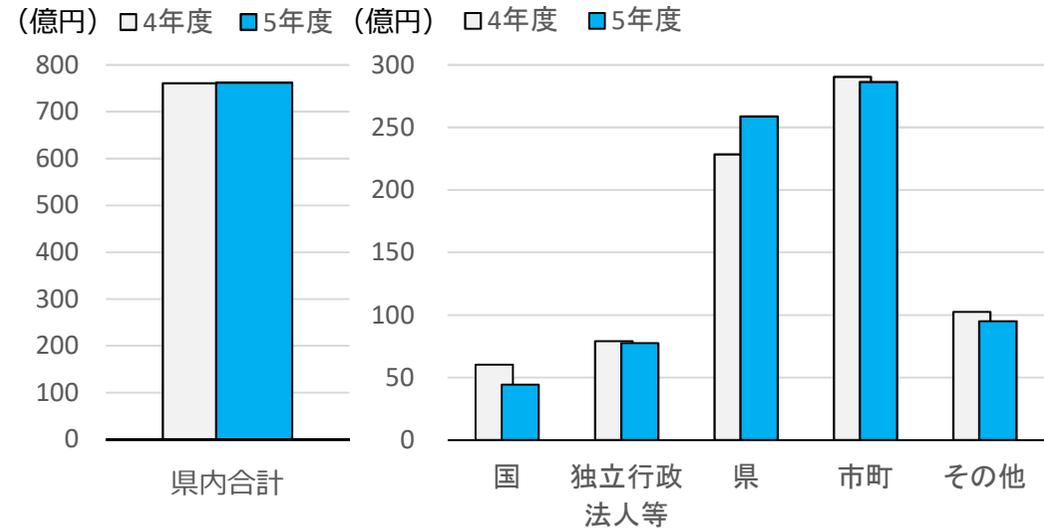
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度並みとなっている

○前払金保証請負金額で見ると、国、独立行政法人等及び市町は前年度を下回っているものの、県は前年度を上回っていることから、全体としては前年度並みとなっている。

〔香川県の公共工事前払金保証請負金額（12月累計額）〕



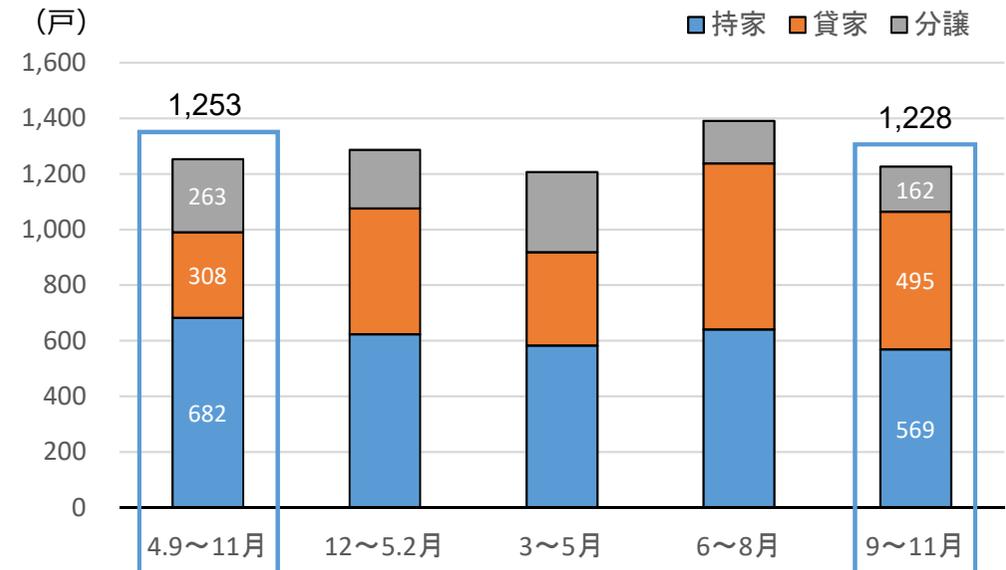
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を下回っている

○新設住宅着工戸数で見ると、貸家は前年を上回っているものの、持家、分譲は前年を下回っていることから、全体としても前年を下回っている。

〔香川県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

設備投資・（企業倒産）・（消費者物価）

設備投資

5年度は前年度を上回る見込み

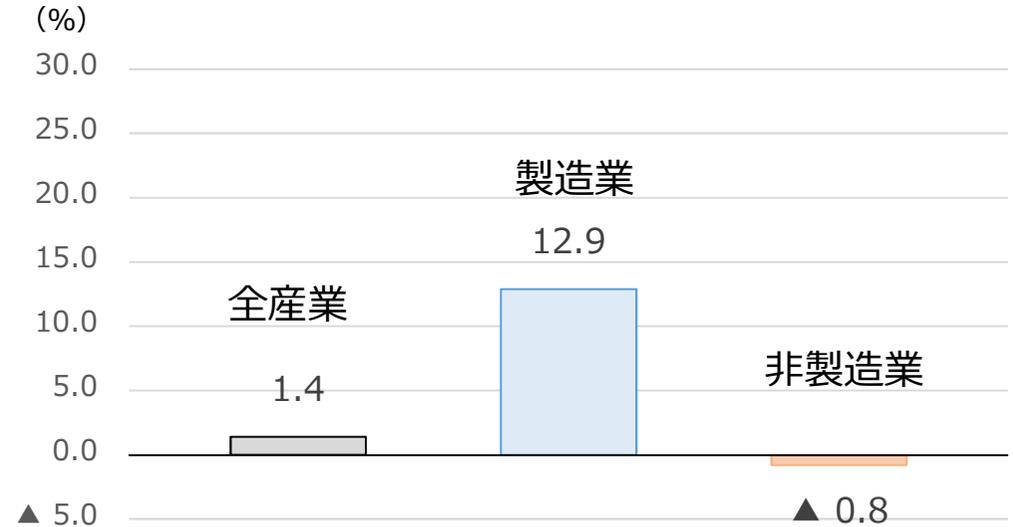
（企業倒産）

件数、負債総額ともに前年を上回っている

（消費者物価）

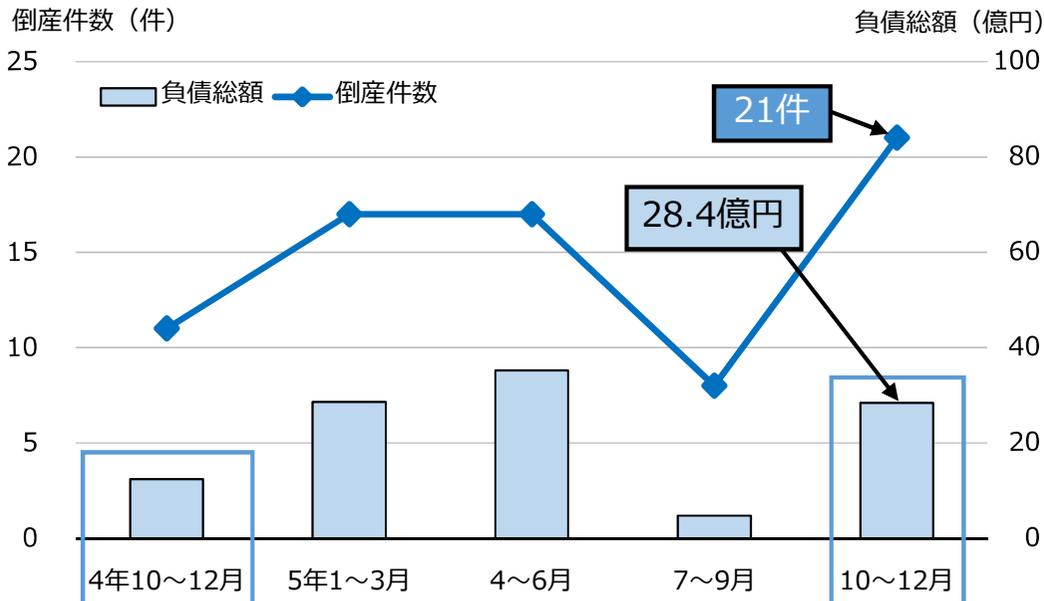
前年を上回っている

〔香川県の設備投資（前年度比）〕



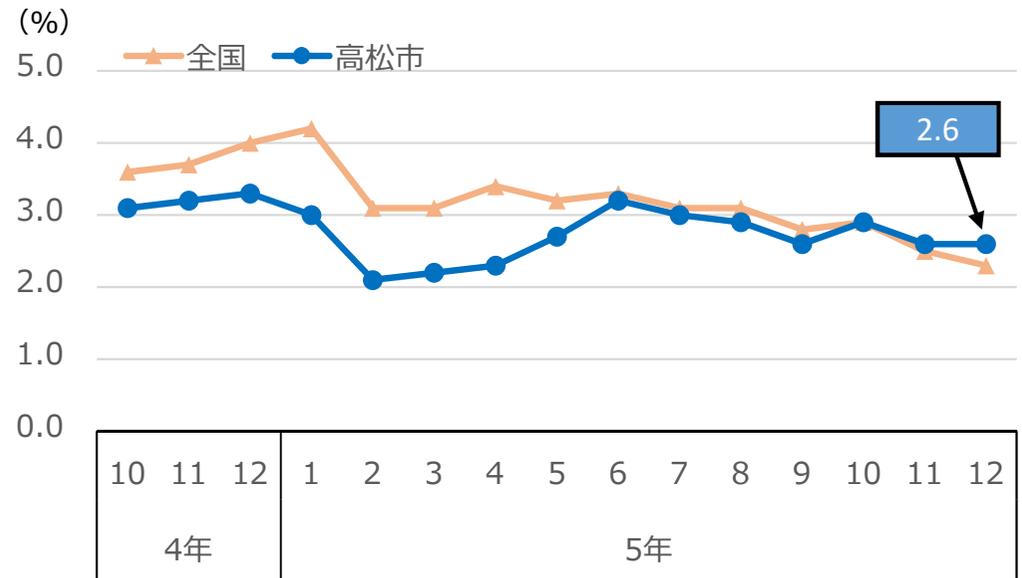
※5年10～12月期調査の結果 【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）
 ※ソフトウェア含む、土地除く

〔香川県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年=100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは
電話番号 087-811-7780
財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

